



Bhadant Arya Nagarjuna Shurei Sasai
Special Symposium 2018 in Japan
Discovery of Nagarjuna
and Mansar-Ramtek

佐々井秀嶺師来日特別講演

龍樹の遺跡の発見

インド マンセル・ラームテク遺跡



2018年 6月23日 (土) 14:00~16:30

京都市国際交流会館イベントホール (京都市左京区粟田口鳥居町2-1)

参加費：1000円 予約不要 13:30開場



佐々井秀嶺 (インド仏教大長老)

岩崎好規 (日本イコモス遺産地盤小委員会主査・地域地盤環境研究所専務理事)

鈴木久男 (京都産業大学文化学部教授)

宮原健吾 (京都市埋蔵文化研究所主任研究員)

中村龍海 (マンセル遺跡研究者・立正大学法華経文化研究所研究員)

主催：南天会

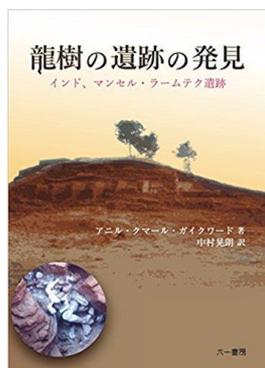
後援：六一書房 (『龍樹の遺跡の発見』発行出版社)

お問合せ：090-5304-8955 (佐伯) nantenkai@gmail.com



龍樹菩薩の靈告という宗教体験によりナグプールを訪れた佐々井秀嶺師は、ナーガールジュナに関連した遺跡の調査を行い、市北郊のマンセル・ラームテク地区の遺跡群に注目し、発掘研究を進めてきた。マンセル遺跡は、龍樹と関係の深いサータヴァーハナ朝、またその後ナグプール一帯を支配したヴァーカータカ王朝影響下の重要な遺跡で、マンセル湖周辺にいくつかの遺跡が点在している。小高い岩山を覆うように造られた複雑な建造物の複合遺跡や、その麓の巨大な僧房（王宮）跡などが確認されている。またマンセルから東へ7キロのラームテクは、古来よりナーガールジュナの名称が残っており、マンセル同様龍樹に関係する遺跡の存在が期待されている。

この度、インドにおいて佐々井師が会長を務める龍樹菩薩記念研究協会から発行された、A.K.ガイクワード著『龍樹の遺跡の発見～インド・マンセル・ラームテク遺跡』（2008年刊）が中村龍海氏により翻訳され、本年1月に出版刊行された。龍樹に関する先駆的研究を網羅し、医師でもあるガイクワード博士の客観的総合的論考と、マンセル発掘の詳細な情報を掲載した本書は、まさに八宗の祖師龍樹の実像にもっとも迫った労作である。マンセル遺跡研究者の中村龍海氏による邦訳で、龍樹の遺跡の発見という仏教史に残る重大な報告が行われている。



インド仏教大長老佐々井秀嶺師の来日に合わせ、研究者が集いマンセル・ラームテク遺跡の概要、発掘調査への展望などを発表する。会場にて『龍樹の遺跡の発見 インド、マンセル・ラームテク遺跡』販売
南天会特別定価 4000 円＋税

(南天会) 〒710-0004 岡山県倉敷市西坂1582-1 一心念誦堂内
佐伯隆快 090-5304-8955 小林三旅 090-4538-2677



南天会ホームページ
<https://www.nantenkai.org/>

 佐々井秀嶺資料室
フェイスブック

(佐々井秀嶺師来日スケジュール)
5月27日(日)
南天会交流会 東京四谷 真成院
6月12日(火)
広島県 尾道浄泉寺講演&座談会
6月18日(月)
台北 西門紅楼「男一代菩薩道」
上映・交流会
6月28日(木)
東京 大菩提寺返還運動アピール
サンガ 佐藤哲朗氏対談
6月30日(土) 東京
「反骨のブッダ」出版記念講演

